



ロータリーは機会の扉を開く

THE ROTARY CLUB OF PORT NAGOYA

Weekly Report

名古屋みなと

2020~2021

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30

例会場 名古屋マリオットアソシアホテル

事務局 TEL 052-221-7020 FAX 052-221-7023

E-Mail office@portnagoya-rc.com

URL <http://www.portnagoya-rc.com>

会長 高田 和裕 幹事 村田 誠一

広報・雑誌・会報委員長 久留宮 秀郎

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES.

ロータリーは機会の扉を開く

R. I. 会長 ホルガー・クナーク



第 2580 回例会 No.4

2020年(令和2年)7月31日(金) 雨

ロータリーソング

「我らの生業」

出席報告

会員 63 名中 出席 38 名 出席率 60.31%

○スピーカー 名古屋掖済会病院緩和ケア内科
部長 小島 美保さん

会長挨拶



皆さん、こんにちは、今日は愛知県出身 1932年生まれ 清水 博さんのお話しを一部紹介します。

「生きている」と「生きていく」この2つの言葉を過去形にすると、面白い。どちらも「生きていた」になる。あの時、私たちは生きていました。

それは、もう間違いがありません。でも、それが「生きている」だったのか、それとも「生きていく」だったのか。「生きていく」は、自己の未来を問う活動です。能動的で、それに対して、「生きている」は、命に支配されている状態。

ここからは、私の話です。私は、この3つ。「生きていく」「生きている」「生きていた」を平成12年、一度に味わいました。私が生まれて来て一番甘えて、わがままを言っていた母が「生きていく」から「生きている」そして「生きていた」となりました。母が急に鰻を食べに行きたいと言い家族でいきました。それから、しばらくたったある日病院に家族が呼ばれました。病院に着くと母は、ベッドで眠ってました。昼間、会社にいたのにどうしたんだろう。父が、お前が代表して聞けと私を診査室の前におしました。その時の先生のお話し。「余命一ヶ月です。……どうしますか。」途中、何か言っていたんだろうが覚えてません。私は、こう答えました。「母は、痛いのが嫌いです。痛くなくしてください」と・・私は、自分で大好きな母を自分で「生きていく」から「生きている」にそして「生きていた」にしてしまいました。母、69歳の時です。

今でもあれは、正しかったかどうか私ではわかりません。入院して、2ヶ月と少し 会社に行かず、

夜もおかあちゃんのそばで、ずっと寝てました。亡くなる、最後まで口から食した記憶があります。そんな、思いを今でも引きずってるわけでもありません。私が、会長エレクトなりたての時に河野先生に「緩和ケアの先生を卓話に紹介してください」とお願いしたらすぐに快く引き受けていただきました。ありがとうございます。後ほど河野先生に紹介いただいた 小島先生に「想いを伝える～あなたとあなたの大切な人のために～」という題目で卓話をしてもらいます。小島先生よろしくお祈りします。最後に、私の大好きな詩人の詩集から ひとつの詩の一部を朗読させていただきます。「宮沢賢治 雨にも負けず」の中より一部 朗読させていただきます。



東に病気の子供あれば
行って看病してやり
西に疲れた母あれば
行ってその稲の束を負い
南に死にそうな人あれば
行って恐がらなくてもいい
と言ひ
北に喧嘩や訴訟があれば
つまらないからやめると言ひ

日照りの時は涙を流し 寒さの夏は おろおろ歩き
みんなにデクノボーと呼ばれ
褒められもせず 苦にもされず
そういうものに わたしは なりたい

ニコBOX

(河野先生、本日は小島先生をご紹介くださりありがとうございます。小島先生、知恵熱が出て今日は欠席です。卓話聞けず残念です。メンバーの皆さん、来週は元気に出て来ます) 高田会長(小島先生、卓話楽しみにしております。宜しくお祈りします) 村田幹事(名古屋掖済会病院緩和ケア内科部長小島美保様、本日は卓話楽しみにしています。よろしくお祈りいたします) 棚橋君(小島美保さん、本日の卓話よろしくお祈りします) 河野君

(今日から9月1週目まで欠席します。申し訳ありません。加藤しろうさん、メガネ型フェイスシールドありがとうございます。探偵ナイトスクープは8月7日(金)の放送になりました)

橋本(美)さん

本日合計	11,000円
ニコニコDAY	8,000円
累計	751,000円

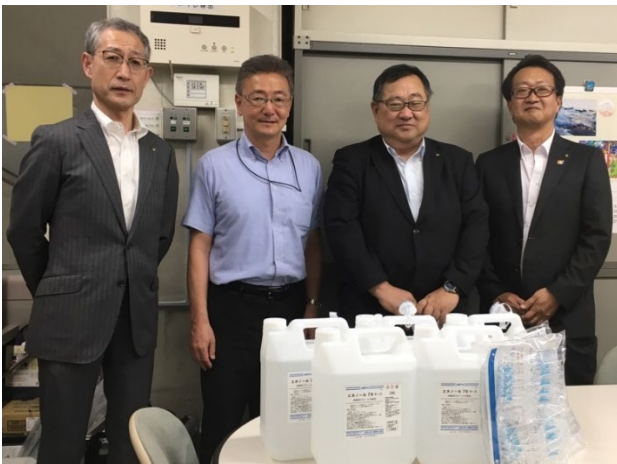
福岡・長崎・佐賀豪雨災害義援金

皆さまよりお寄せいただいた義援金が総額27,000円となりましたことをご報告させていただきます。8月7日の例会時も義捐金BOXを設置いたしますので、皆さまの温かいご支援、ご協力を宜しくお願い致します。

社会奉仕委員会報告

名古屋市立西養護学校支援事業について

社会奉仕委員長 棚橋 顯君



7月17日(金)の例会終了後に高田会長と村田幹事と私の3名で名古屋市立西養護学校を訪問して白木教頭先生にお会いし、フェイスシールド150個とエタノール消毒液40リットルを寄贈してまいりました。本事業は当初開催を予定しておりましたクリスマス音楽会がコロナ感染症の影響で中止になったことから新たに企画し実行いたしました。フェイスシールドについては加藤嗣郎君、エタノール消毒液については箕浦靖夫君から調達のための力をお借りしたこと。田島副会長からは物品選定のうえで様々なアドバイスをいただいたことに感謝申し上げます。

幹事報告

村田 誠一君

①豪雨災害の件

2700 地区福岡・長崎・佐賀の豪雨災害の義捐金です。受付ですでに集めさせて頂いておりますが未だの方はお帰りの際にご協力をお願いします。

②名簿の件

後ろのボードに手帳サイズの名簿の校正が掲示してあります。第2校目であります。前回修正を記入された方は直っているかご確認をお願いします。

③8/7 例会開催の件

コロナ感染が広がっており、当地区でも8月の例会中止を決めたクラブもあります。当クラブは8/7は例会を開催。例会後の理事会にて8/21・8/28の開催の是非を決定します。次回はスクール形式で例会を行い感染予防に努めますのでご参加の程、宜しくをお願いします。

④家庭集会の件

8/7 開催予定でしたAグループ家庭集会ですが、コロナの影響により延期といたしました。開催日につきましては改めてお知らせします。

卓話 「想いを伝える

～あなたとあなたの大切な人のために～

名古屋掖済会病院緩和ケア内科

部長 小島 美保さん



あなたの大切なひとはだれですか？あなたの想いを（想いは心の中でおもい浮かべた考えで、感情的に考えていることをいうときに使われます）相手に伝えたことはありますか？伝えること、簡単なようではなかなかできないものですよ。

だれでも急に事故にあったり、予期せぬ病気になったりすることがあります。あなたがもし急に話せなくなってしまうたら？周りの人は迷います。後悔にもつながるかもしれません。

そこでACP（アドバンス・ケア・プランニング）の考え方を少し紹介させていただきます。

死について何かを決めることではありません。本人を人として尊重した意思決定の実現を支援し、その目標について周りの大切な人と共有するその話し合いを意味します。病気になってから考えることももちろん重要ですが、社会を担う一員として生活しているときからもしもの話として、自分の人生の目標、希望、医療について、療養の場についての意向などを話し合うことができるようになる、病気になっても安心して生活する事ができるのだと思います。

「縁起でもないこと」と避けるのではなく「人はいつかみな亡くなる」ということを受け止めること。私は自分の体験からもそれが大切であると実感しています。

元気なときから、もしもの時のことについて考え、周りの大切なひとと一緒に話し合うこと。大切な役目のある皆様だからこそ、人生会議が必要なのだと思います。

最後に緩和ケアについて。最後の医療のイメージでしょうか？それは違います。病とともに過ごす方全てに必要とされる医療です。がん治療の一つの柱なのです。病があってもあなたはあなたであることは変わりません。病もふくめてその人の全てを受けとめること、なにがあってもとことん患者さまと向き合うこと、それが私の信条です。

“生きるをささえる緩和ケア”これからも安心して過ごして頂けるよう頑張ります。

月	日	今後の例会予定
8	7	卓話「会員増強と会員選考について」 会員増強・職業分類 寺西 高子さん 会員選考 高村 芳行君 卓話「自己紹介」 大平 剛君 16F「アゼリア」
	14	休会
	21	未定
	28	未定
9	4	卓話 名古屋市港防災センター 防災教育アドバイザー 近藤 ひろ子さん 17F「コスモス」
	11	敬老例会 17F「コスモス」
	18	ガバナー補佐訪問 17F「コスモス」
	25	休会